

ゴールドマン・サックス（ケイマン諸島）ユニット・トラスト – netWIN GSテクノロジー株式ファンド

ケイマン籍／オープン・エンド契約型外国投資信託 米ドルクラス／豪ドルクラス（為替ヘッジあり）

債券指数と外貨建てnetWINの持ち合わせシミュレーション テクノロジー市場を取り巻く足元での注目点

本レポートのポイント

- 債券と外貨建てnetWINの持ち合わせにより、投資効率には一定の持ち合わせ効果が示されている
- 米国の利下げ、AIサーバー増加に向けた設備投資はテクノロジー企業への追い風に
- 外貨建てnetWINは足元「マグニフィセント・セブン」の銘柄を上位に組み入れる一方、柔軟に比率を調整



債券指数と外貨建てnetWINの持ち合わせシミュレーション

ブルームバーグ・マルチバース債券指数と外貨建てnetWIN（米ドルクラス）の過去3年データ

債券と株式は一般に、異なる値動きをすることが知られています。そこで、2020年10月に設定された本ファンドについて、過去3年のデータを用いてシミュレーションを行った場合、下記の結果となりました。

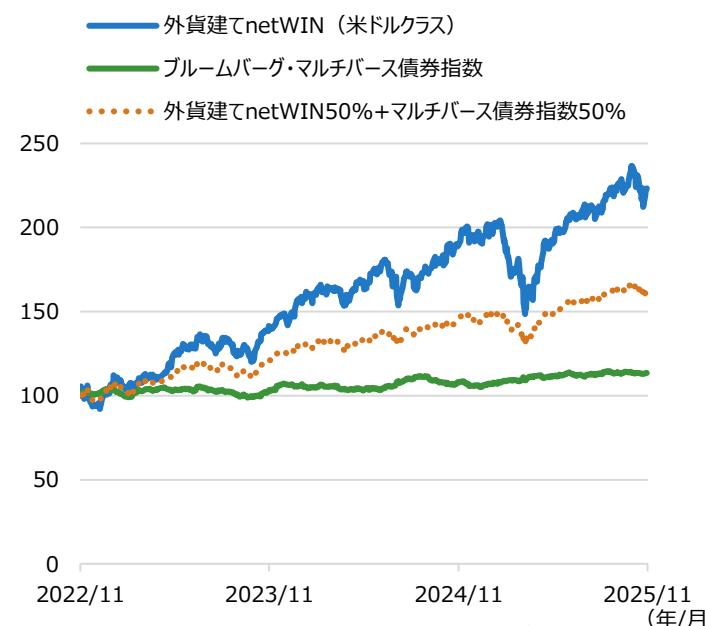
ブルームバーグ・マルチバース債券指数は、様々な種類・年限の債券をカバーする債券市場を代表する指標の一つです。

債券に一定比率外貨建てnetWIN（米ドルクラス）を持ち合わせることで、リスク当たりのリターンの向上がみられ、株式下落局面での下落幅は比較的抑制されたことが読み取れます。

ブルームバーグ・マルチバース債券指数と
外貨建てnetWIN（米ドルクラス）の
持ち合わせ比率ごとの年率リターン、年率リスク、
リターン/リスク（米ドルベース）

ブルームバーグ・マルチバース債券指数、
外貨建てnetWIN（米ドルクラス）、
それぞれを半分ずつ持ち合わせた場合のポートフォリオの
パフォーマンス推移（米ドルベース）

債券指標 比率	外貨建て netWIN 比率	年率リターン	年率リスク	リターン/ リスク
100%	0%	4.4%	7.0%	0.63
90%	10%	7.0%	7.1%	0.98
80%	20%	9.6%	7.8%	1.24
70%	30%	12.3%	8.8%	1.39
60%	40%	14.9%	10.2%	1.46
50%	50%	17.5%	11.7%	1.50
40%	60%	20.2%	13.4%	1.51
30%	70%	22.8%	15.1%	1.51
20%	80%	25.4%	16.9%	1.50
10%	90%	28.1%	18.7%	1.50
0%	100%	30.7%	20.6%	1.49



期間：2022年11月末～2025年11月末、出所：ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 外貨建てnetWINは上記期間で分配実績はありません。

【表】リターン/リスク：年率リターンを年率リスクで除して算出。1口当たり純資産価格を基にした月次リターンを使用。

【グラフ】グラフ始点を100として指標化。

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。過去のデータは将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。1口当たり純資産価格は管理報酬等費用（詳細は、後述の「お客様の費用」をご参照ください。）控除後のものです。シミュレーションによるパフォーマンスは、実際の取引に基づくものではなく、その予想力には限界があります。実運用ポートフォリオで上記シミュレーションと同様の結果が得られるとは限りません。



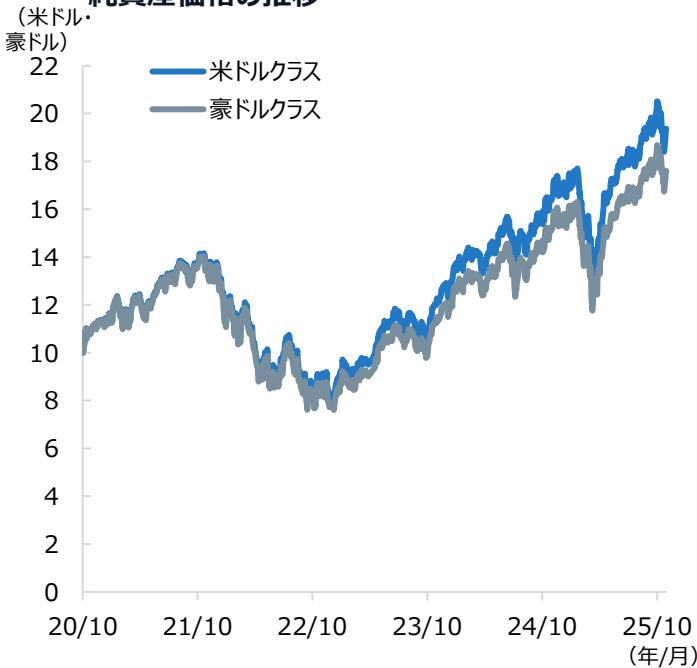
運用開始来の状況と米国利下げの影響

2025年以降は、一時的な下落が見られたものの、足元では好調に推移。米国の利下げも追い風に。

2025年に入り、トランプ政権の影響などで一時は大きな下落が見られましたが、足元での外貨建てnetWINのパフォーマンスは回復し、成長を続けています。

現在、米国では利下げが再開され、外貨建てnetWINを取り巻く投資環境も新たな局面を迎えてます。過去の米国利下げ局面を振り返ると、利下げ開始/再開後1年においては、情報技術（IT）セクターが最も堅調に推移してきた歴史があります。

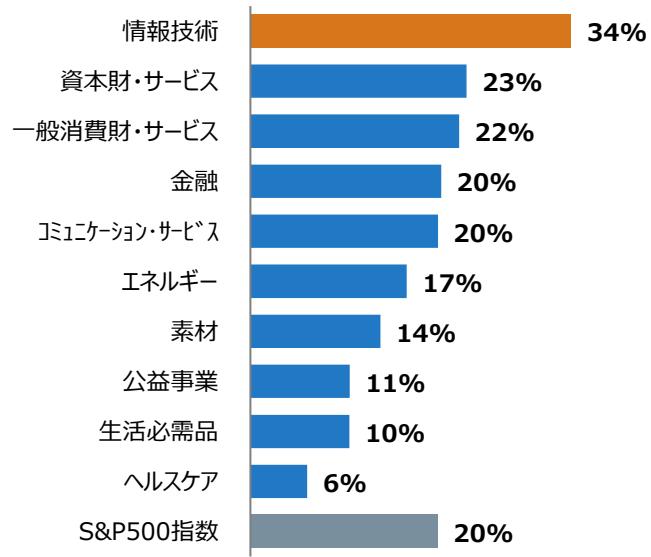
外貨建てnetWINの設定来の1口当たり 純資産価格の推移



期間：2020年10月30日（設定日）～2025年11月28日

出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

1990年以降の利下げ開始/再開後の米国株式市場の セクター別1年平均リターン（景気後退を回避した局面を抽出）



米国が直近6ヶ月以上利下げを行っていない状況下で利下げを実施した日から1年間のセクター別リターン（米ドルベース、配当込み、データの取得できない不動産を除く）景気後退局面は全米経済研究所の定義を使用

期間：1989年12月末～2025年11月末

出所：ブルームバーグ、全米経済研究所



テクノロジー企業の事業環境

AIサーバーの供給は未だ限定的。積極的な設備投資は、AI半導体メーカーなどへの追い風に

世界中でAI（人工知能）の普及がますます進むなかで、その処理能力をまかなうサーバーの需要は高まっています。一方、2025年のサーバー全体の出荷のうち、AIサーバーの台数は全体の1割未満にとどまる見込みです。

こうしたなか、クラウド事業主は設備投資を拡大してデータセンター増設を積極的に進めており、大手4社の2025年度の投資額は3,436億米ドル（約53兆円）に達すると見込まれています。

1米ドル=154.06円で円換算

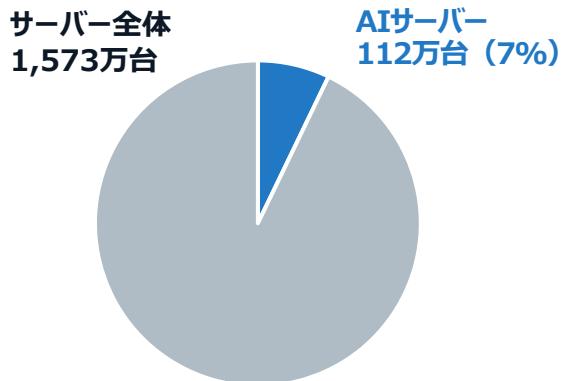
さらに、トランプ政権は今年7月に「AI行動計画（America's AI Action Plan）」を掲げ、イノベーション促進のための規制緩和や、AIに必要なデータセンターの建設許認可の迅速化に向けて、関係当局が効率的に手続きを進められる関連規則の簡素化などを提言しました。こうした政策サポートは、AIの進化、民間の積極的な投資継続を後押しするものになるとみられます。

出所：ホワイトハウス

AI関連の設備投資の中心に、AI処理を担う半導体があります。なかでもGPUやメモリなどの高性能チップはAIインフラを支える心臓部であり、今後もAIサーバー需要の拡大に伴い、投資の恩恵を受ける分野と考えられます。

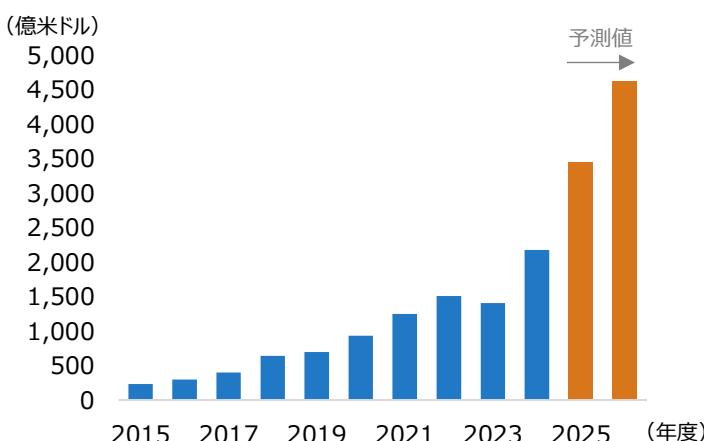
GPU：画像処理装置

2025年の世界のサーバー出荷におけるAIサーバー割合予想



時点：2025年（2025年6月時点の予測値）、出所：ゴールドマン・サックス・グローバル投資調査部 AIサーバーとは、AI学習を担うサーバーとAI推論を担うサーバーの合計をさします。

大規模クラウド事業主4社*の年度設備投資金額の推移



*Amazon・ドット・コム、アルファベット、マイクロソフト、メタ・プラットフォームズの合計。
期間：2015年度～2026年度（2025年度以降は2025年10月31日時点の予測値）出所：ファクトセット、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

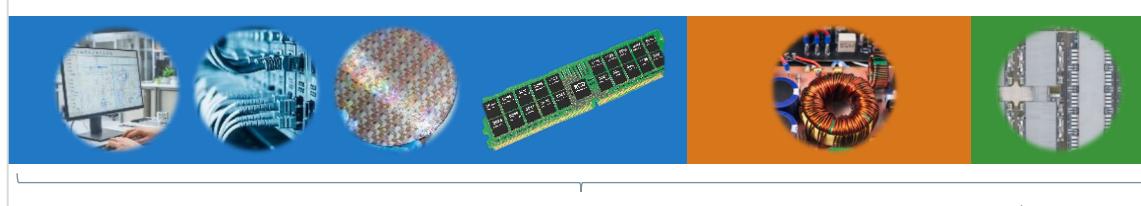
AI需要に対応するために必要な、民間のデータセンター投資の金額と使途推計

半導体・
コンピューティング・ハードウェア
約455兆円

発電/送電・
冷却・電気設備
約191兆円

土地開発、資材、
敷地整備
約117兆円

2030年までに
必要な投資金額



同じ期間、非AI用
データセンター向けには
1.5兆米ドルの見込み

時点：2030年（2025年4月時点の推計）、出所：マッキンゼー・アンド・カンパニー、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
1米ドル=154.06円で円換算



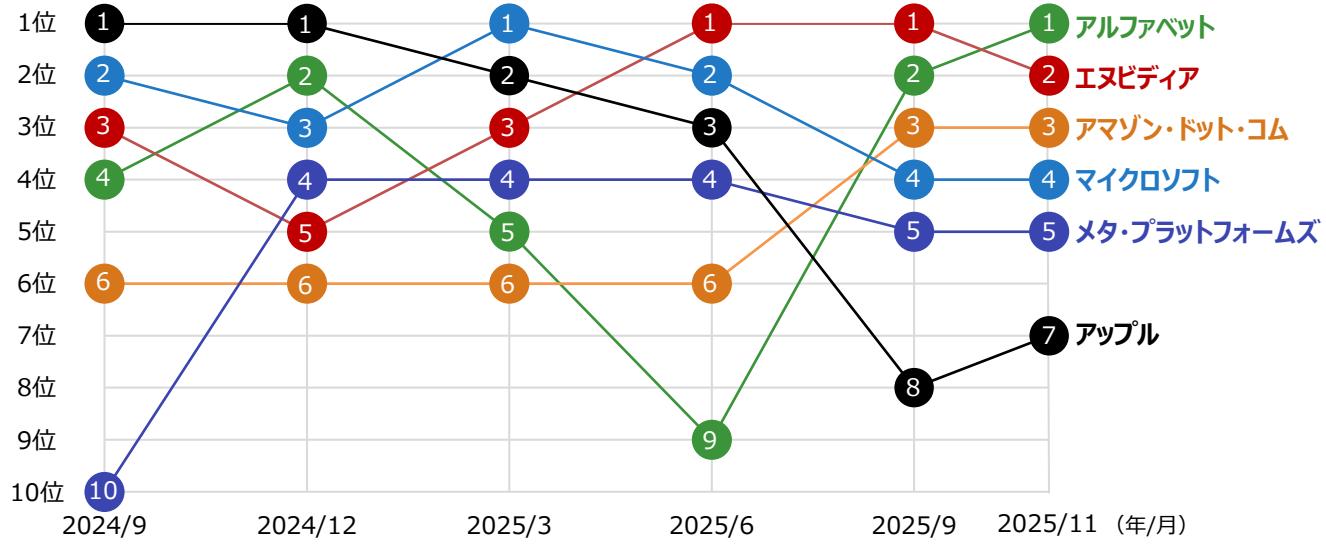
マグニフィセント・セブンと外貨建てnetWIN

外貨建てnetWINは足元「マグニフィセント・セブン」の銘柄を上位に組み入れる一方、柔軟に比率を調整

「マグニフィセント・セブン」と呼ばれる米国の大型ハイテク企業は、主要株価指数においても上位を占める傾向にありますが、外貨建てnetWINではそれぞれの事業環境や割安度などを見極め、柔軟に組入比率を調整しています。

マグニフィセント・セブンとは、アップル、マイクロソフト、エヌビディア、アルファベット、アマゾン・ドット・コム、メタ・プラットフォームズ、テスラの7社を総称したものです。

外貨建てnetWIN マグニフィセント・セブンの組入順位の推移 (各時点で上位10位以内の場合のみ記載)



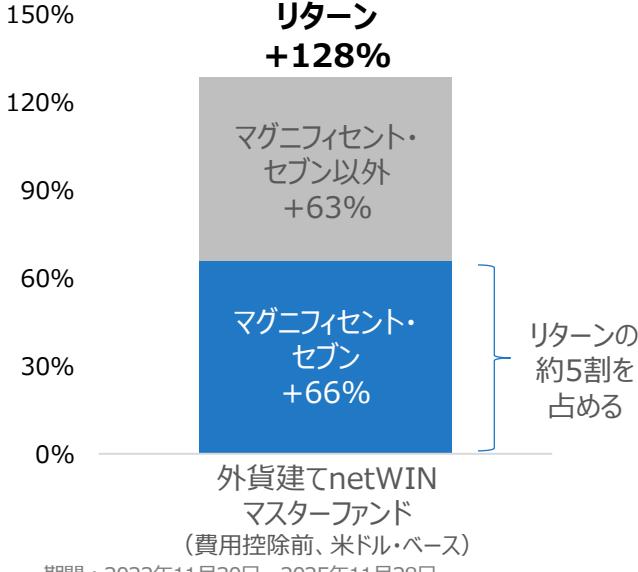
期間：2024年9月末～2025年11月末、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

ファンダのリターンにおいては、過去3年間では「マグニフィセント・セブン」の銘柄からの寄与は全体の約5割でした。

外貨建てnetWINでは、成長著しい「マグニフィセント・セブン」の銘柄を足元では上位に組入れつつも、必ずすべてのマグニフィセント・セブンの銘柄を組入れるものではなく、常に銘柄選択と比率の調整を行っています。

また、それ以外の幅広いテクノロジー企業の成長を取り込むことでリターンの源泉を分散させ、多面的にテクノロジーの進化を捉える運用を行っています。

マスターファンドの過去3年のリターンおよびマグニフィセント・セブンの寄与



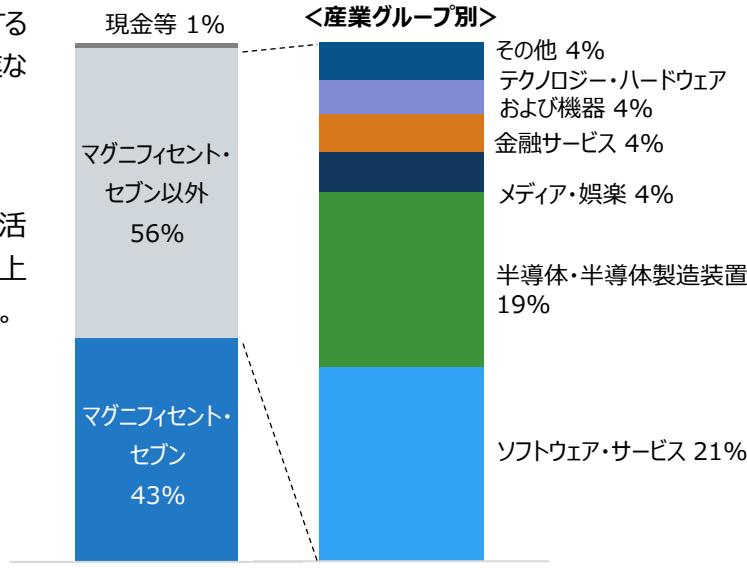
期間：2022年11月30日～2025年11月28日
出所：ファクトセット、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

マスターファンド「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ」のデータです。上記は過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場の動向等を勘案して随時変更されます。ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料で紹介している投資戦略あるいは投資アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものではありません。

足元のマグニフィセント・セブン以外の銘柄としては、AIを活用するためのデータ整備などを行うソフトウェアの企業や、AIインフラに必要な半導体のメーカー、半導体製造装置を提供する企業、AIサーバーの部品を提供するハードウェア関連企業などに注目しています。

また、ストリーミングサービスなどの娛樂関連においても、AIを活用してレコメンデーション機能を改善するなど、サービスの向上によってさらなる需要拡大が見込める企業に注目しています。

外貨建てnetWIN マグニフィセント・セブン銘柄の割合 およびマグニフィセント・セブン以外の 産業グループ別構成比率



時点：2025年11月末、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントマスターファンド「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ」のデータであり、比率は対純資産総額比です。産業グループはGlobal Industry Classification Standard (GICS®) (世界産業分類基準) の分類を使用し、上位5業種を表示しています。比率は四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。



ファンドのバリュエーション

このようななか、ポートフォリオのバリュエーションは過去5年の平均程度となっています。

過去5年 外貨建てnetWIN (米ドルクラス) のパフォーマンスと 外貨建てnetWINポートフォリオ*の予想PER (株価収益率、来期ベース) の推移



期間：2020年11月27日～2025年11月28日（週次ベース、パフォーマンスは左軸グラフ始点を100として指数化）、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント、ファクトセット パフォーマンスには1口当たり純資産価格（管理報酬等費用控除後）を使用。*マスターファンド「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ」のデータ。予想PERは来期のコンセンサス予想利益を使用。

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。追記をご覧下さい。上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場の動向等を勘案して随時変更されます。ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料で紹介している投資戦略あるいは投資アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものでもありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

ファンドの特色

ファンドの運用は、ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. – ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ（以下「マスター・ファンド」といいます。）を通じて行います。

1. 主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の大型および中型株式に実質的に投資します。

ソフトウェア・サービス、メディア・エンターテイメント、テレコミュニケーション等の特定のセクター（ただしこれらに限定されるものではありません。）に集中して投資することがあります。

米ドル建ての株式を主要な実質的投資対象としますが、米ドル建て以外の株式に投資を行うことがあります。

2. 「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行います。

3. 米ドルクラスと豪ドルクラス（為替ヘッジあり）からお選びいただけます。

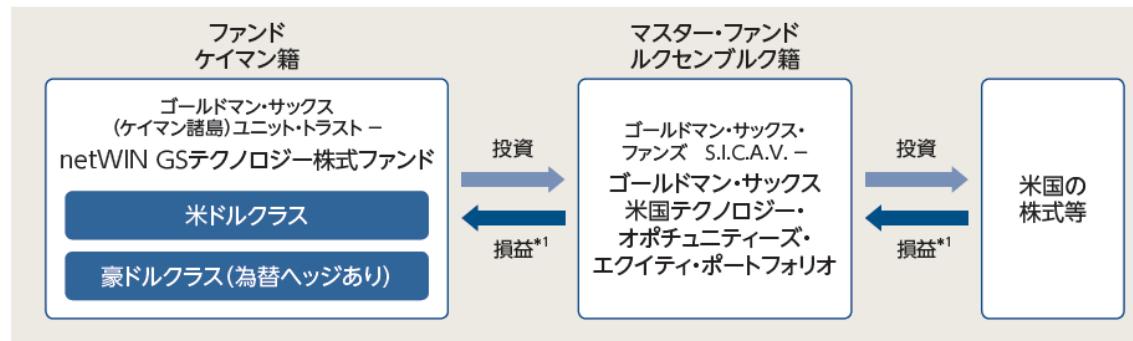
米ドルクラス	米ドル建て	為替ヘッジは原則として行いません。
豪ドルクラス (為替ヘッジあり)	豪ドル建て	原則として米ドル売り豪ドル買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

豪ドルクラス（為替ヘッジあり）は、実質的な投資対象資産の通貨にかかわらず米ドル売り豪ドル買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ファンドにおいて米ドル建て以外の外貨建資産を実質的に保有する場合、当該通貨と米ドルとの間の為替変動の影響を受けます。なお、為替取引にはコストがかかります。為替取引のコストは、米ドルと豪ドルの短期金利の差が目安となり、豪ドルの短期金利のほうが低い場合、この金利差分、収益が低下します。

販売会社によっては、いずれかのクラスのみのお取扱いとなる場合があります。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

ファンドの仕組み



*1 損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

*2 日本における販売会社によっては、米ドルクラスと豪ドルクラス（為替ヘッジあり）との間でスイッチングが可能です。くわしくは日本における販売会社までお問い合わせください。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

投資リスク

投資信託は預貯金と異なります。ファンドは、マスター・ファンドへの投資を通じて、主に米国企業の株式に投資しますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、ファンドの純資産価格が下落し、損失を被ることがあります。また、ファンドの純資産価格は外貨建てで算出されるため、当該通貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、ファンドの純資産価格の下落や為替相場の変動により、投資元金が割り込み損失を被ることがあります。運用による損益はすべて投資家の皆さまに帰属します。

リスク要因

価格変動リスク

ファンドへの投資には、株式の価格変動等の様々なリスクが伴います。ファンドは、金利動向、一般的な経済状況、金融市場の状況、特定業種の動向や傾向、発行体の財務状況、需給関係の変動、取引・財務・金融および為替に関わる規制および政府の方針、ならびに国内外の政治的・経済的事由および方針の影響を受けます。株価の下落、発行体の破綻や財務状況の悪化等の市場環境により、ファンドの純資産価格が下落し、投資元金が割り込み損失を被ることがあります。

集中投資リスク

ファンドは、一定の業種に対して大きな比重をおいて投資を行いますので、業種をより分散した場合と比較して、ボラティリティが高く大きなリスクがあると考えられます。特にテクノロジー関連企業等の株式の下降局面ではファンドの純資産価格はより大きく下落する可能性が大きいと考えられます。

為替変動リスク

外貨建てのクラスの場合、各表示通貨では投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。豪ドルクラス（為替ヘッジあり）は、実質的な投資対象資産の通貨にかかわらず米ドル売り豪ドル買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替取引が効果的である保証はなく、為替変動の影響を受ける場合があります。ファンドにおいて米ドル建て以外の外貨建資産を実質的に保有する場合、当該通貨と米ドルとの間の為替変動の影響を受けます。また、為替取引にはコストがかかります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

お申込みメモ

■ファンド概要

ファンド名	ゴールドマン・サックス(ケイマン諸島)ユニット・トラスト – netWIN GSテクノロジー株式ファンド 米ドルクラス／豪ドルクラス(為替ヘッジあり)
ファンド形態	ケイマン籍 オープン・エンド契約型外国投資信託
設定日	2020年10月30日
信託期間	原則として2030年10月31日まで。 ただし、受託会社および管理会社は、投資顧問会社と協議の上、書面により宣言することをもって信託期間を延長する場合があります。また、ファンドは、2030年10月31日以前に終了することがあります。くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
ファンド営業日	ロンドン、ニューヨーク、ルクセンブルクおよび東京の銀行の営業日ならびにロンドン証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびルクセンブルク証券取引所の営業日または管理会社(またはその委託を受けた者)が投資顧問会社と協議の上、定める日(土曜日、日曜日および12月24日を除きます。)をいいます(以下「ファンド営業日」といいます。)。
取引日	米ドルクラスについては、ファンド営業日、豪ドルクラス(為替ヘッジあり)については、ファンド営業日でかつオーストラリア証券取引所が取引を行っている日。
収益分配	分配を行う予定はありません。

■購入

購入価格	購入申込みが受け付けられた取引日の1口当たり純資産価格
購入単位	日本における販売会社によって異なります。くわしくは、日本における販売会社にご照会ください。
払込期日	国内約定日(販売会社が購入注文の成立を確認した日)から起算して4国内営業日目

■換金(買戻し)

換金単位	0.001口単位 ただし、日本における販売会社は、これと異なる単位を指定することができます。
換金価格	換金(買戻し)請求が受け付けられた取引日の1口当たり純資産価格
お支払日	国内約定日(販売会社が換金(買戻し)注文の成立を確認した日)から起算して原則として4国内営業日目

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

お客様の費用

■ 購入時の費用

購入時手数料	購入金額の 3.3%(税抜3%)を上限 とする日本における販売会社が定める手数料
--------	---

■ 投資信託の保有期間に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用 (管理報酬等)	純資産総額に対して 1.63%(年率)および年間74,750米ドルを上限 とした運用管理費用	
	管 理 報 酬	年間37,500米ドルの固定報酬および年間17,250米ドルを上限とした変動報酬
	投 資 顧 問 報 酉	純資産総額に対して年率0.80%
	販 売 会 社 報 酉	純資産総額に対して年率0.80%
	代 行 協 会 員 報 酉	純資産総額に対して年率0.03%
	受益者サービス報酬	純資産総額に対して年率0.05%または年間20,000米ドルのいずれか低い方を上限とします。
その他の費用・手数料	<p>受託報酬、管理事務代行および保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬がファンドから支払われるほか、設立費用、監査費用、弁護士費用、印刷費用、有価証券売買時の売買委託手数料、保管費用等の実費を間接的にご負担いただきます。</p> <p>受託報酬、管理事務代行および保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬は、資産総額に基づき、信託証書での規定または当事者間の合意により通知なくして隨時変更されるため、その上限額等を表示することができません。</p> <p>ファンドが投資するマスター・ファンドの投資証券に関して、運用報酬または販売手数料は課されません。マスター・ファンドの運営費用は、原則としてマスター・ファンドの資産から支払われるため、ファンドは、マスター・ファンドの投資者として、当該費用を比例按分で負担します。</p> <p>上記その他の費用・手数料は、ファンドより実費として間接的にご負担いただいますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示することができません。</p>	

■ 換金時の費用

換金手数料	なし
信託財産留保額	なし

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

■ 為替に関する留意点

ファンドの購入・換金にあたり、円貨と外貨を交換する際には、販売会社の決定する為替レートによるものとします。くわしくは、販売会社にご確認ください。

■ 税金

換金代金、償還金には税金(課税対象の場合)がかかります。本ファンドは、税法上、公募外国株式投資信託として取り扱われます。

管理会社、その他関係法人

管 理 会 社	シーエス(ケイマン)リミテッド
投 資 顧 問 会 社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー
副 投 資 顧 問 会 社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル : ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
受 託 会 社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッド
保管会社および管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー
登録・名義書換事務代行会社	CACEISバンク、ルクセンブルク支店
受 益 者 サ ー ビ ス 代 行 会 社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル
代 行 協 会 員	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
販 売 会 社	日本における販売会社につきましてはゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 株式会社(ホームページ・アドレス: www.gsam.co.jp)までご照会ください。

販売会社一覧

金融商品取引業者名	登録番号	加入協会				お取扱いコース (為替ヘッジあり) 米ドルクラス 豪ドルクラス	備考
		日本証券業協会	一般社団法人 一般投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会第二種		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	●	●	●	●	●
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	●	●	●	●	●
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	●	●	●	●	●
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	●	●	●	●	●
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	●	●	●	●	●
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	●	●	●	●	●
ほくほくTT証券株式会社 (委託金融商品取引業者 東海東京証券株式会社)	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	●			●	●
株式会社 S M B C 信託銀行*	登録金融機関	関東財務局長(登金)第653号	●	●	●	●	●
株式会社 S B I 新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社 S B I 証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	●		●	●	●
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	●	●	●	●	●

*上記の他に「一般社団法人投資信託協会」にも加入しております。

追記

- 本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書（交付目論見書）」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当社及びゴールドマン・サックス・グループで投資運用業務を行う関係法人を総称して「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」あるいは「GSAM」と呼ぶことがあります。
- 株式への投資は、個々の企業、業種への見通しや市場・経済の状況等による価格変動のため投資元本を割り込んだり、その全額を失うことがあります。投資スタイル（例えば、グロースとバリュー）の違いにより運用が優位にも劣位にもシフトすることから、同様の資産クラスに投資する他の戦略のパフォーマンスに劣後することがあります。中小型株など時価総額が相対的に小さい場合は流動性が低く大型株などと比較して価格が急速に乱高下する場合があります。
- 本ファンドは主に米国企業の株式に実質的に投資しますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。また、ファンドの純資産価格は外貨建てで算出されるため、当該通貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。
- 本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものではありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。
- 本資料に記載された経済、市場等に関する予測は、資料作成時点での様々な仮定や判断を反映するものであり、今後予告なく変わる可能性があります。これらの予測値は特定の顧客の特定の投資目的、投資制限、税制、財務状況等を考慮したものではありません。実際には予測と異なる結果になる可能性があり、本資料中に反映されていない場合もあります。これらの予測は、将来の運用成果に影響を与える高い不確実性を伴うものです。したがって、これらの予測は、将来実現する可能性のある結果の一例を示すに過ぎません。これらの予測は一定の前提に基づく推定であり、今後、経済、市場の状況が変化するに伴い、大きく変わることが考えられます。ゴールドマン・サックスはこれら予測値の変更や更新について公表の義務を有しません。
- 本資料に記載された、一般的な市場動向や、産業およびセクター動向、あるいは広範囲にわたる経済、市場および政治状況についての情報は、いかなる投資推奨あるいは投資助言の提供を意図するものではありません。本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（GSAM）が作成したものであり、ゴールドマン・サックスのグローバル・インベストメント・リサーチ部門（GIR）が発行したものではありません。本資料に記載された見解は、GIR、その他ゴールドマン・サックスまたはその関連会社のいかなる部署・部門の見解と必ずしも同一であるとは限りません。本資料記載の情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することができます。
- 個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 指数値は実際の運用による結果ではありません。指数値は利子収入や配当金の再投資を考慮していますが、実際の投資において収益率を引き下げる報酬や費用等の控除は考慮されていません。指数に直接投資することはできません。
- シミュレーションによるパフォーマンスは一定の仮定に基づいており、運用者の投資判断に影響を与える市場要因や経済要因は考慮されておりません。また、シミュレーションの結果は、市場の過去の結果を用いたモデルを過去に遡及して得られたものです。シミュレーションの結果には、実際の運用収益を減少させる運用報酬や取引にかかる費用、その他の費用を考慮していません。実際の運用成果等とは異なります。
- 外国証券は、変動性が高く流動性が低くなる可能性があり、不利な経済や政治的展開のリスクを伴う可能性があります。外国証券は規制の未整備、変動性の高い証券市場、不利な為替レートや社会的、政治的、軍事的、規制的、経済的、環境的発展、または自然災害により、より大きな損失リスクを伴いますが、これらに限定されるものではありません。
- 投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。
- 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。
- 本資料の一部または全部を、当社の書面による事前承諾なく（I）複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは（II）再配布することを禁じます。